

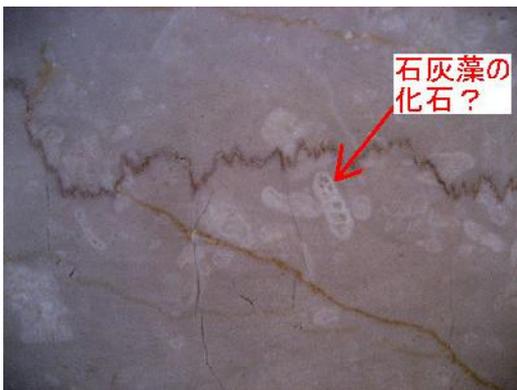
高岡大和の床面や壁面に見られる化石

高岡大和は約15年前にリニューアルされましたが、現在の建物にはふんだんに大理石が使われています。種類も多く、旧大和の石灰岩や、新たに取り入れられたいわゆる「トラバーチン」とよばれる多孔質の縞状の大理石など、数種類の石材が使用されています。その多くは化石片で種類もはっきりしませんが、中には1階ロビーの壁面に見られる石灰藻の化石と考えられるもの（写真）や、同じく1階床面に見られるベレムナイト（中生代に栄えたイカの仲間）の断面ではないかと考えられる化石など、何の化石かを想像するのが楽しくなるような模様も見られます。



石灰藻が見つかる大和1階壁面

数種類の大理石が使われている大和1階床面



石灰藻の可能性のある化石



厚歯二枚貝と考えられる化石



ベレムナイトの断面と考えられる化石

※上の写真は、高岡大和の承諾を得て撮影し掲載したものです。